

法学部の学位授与の方針 (Diploma Policy ; DP)

「学士 (法学)」または「学士 (政治学)」の学位を授与される学生は、所定の単位を修得し以下の能力を身に付けたものとする。

<大学共通>

【教養の修得】

(DP 1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関して、それぞれの分野の基本的な概念と基礎となる思考方法を理解し、人間社会の諸問題を多角的に把握するための論理的かつ総合的な思考力を身に付けている。

【課題の発見と解決】

(DP 2) 社会の諸問題を理解するために必要な情報 (日本語または英語で書かれた文献、統計等を含む) を調査収集し、本質的な課題を発見・解決するために、調査収集した情報を的確に分析する能力 (語学力に裏打ちされた読解力を含む) を身に付けている。

【他者との協働】

(DP 3) 多様な文化、環境、状況のもとで、多様な価値観を理解し他者を思いやり、他者の意思や感情を的確に理解して意思の疎通を行うコミュニケーション力 (語学力を含む) と協調性を身に付けている。

【自発性、積極性】

(DP 4) 特別な教育プログラムや学外活動 (留学、インターンシップ、ボランティア等を含む) に積極的に挑戦した経験を有し、生涯学び続けようとする強い自発的意志を有している。

【表現力、発信力】

(DP 5) 自己の世界観、人生観を確立し、それに基づく自己の意見を、外に向けて発信できる豊かな表現力を身に付けている。

<法律学科>

【専門分野の知識・理解】

(DP 6) 法制度の構造と動態に関する深い知識に基づいて、社会の様々な問題を法的に分析し、その解決に向けて法を活用する力を身に付けている。

【法的素養に裏打ちされた判断力】

(DP 7) 個人の権利の保障に配慮しながら、普段に変化している社会における多様な利害の調整や紛争の解決に臨機応変に寄与できるリーガルマインドとリーダーシップを身に付けている。

<政治学科>

【専門分野の知識・理解】

(DP 6) 政治学的視座に基づいて、現代社会が抱える諸問題を構造的に理解する力を養成する。

【総合的判断力】

(DP 7) 批判的・論理的思考力、課題探求・問題解決力、コミュニケーション能力に基づいた総合的判断力を養成する。